

浜松基地研修で航空自衛官について学ぶ



出発時に三谷衆議院議員（写真：中央）より激励を受ける

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、1月17日（木）市ヶ尾募集相談員10名の航空自衛隊浜松基地等研修を支援した。

出発前の相談員は「浜松は初めて。楽しみにしてきました」と、今回の研修を待ち望んでいた様子だった。

当日は、三谷英弘衆議院議員も駆けつけ、研修出発の激励があった。

最初に航空自衛隊浜松基地広報館エアーパークの研修を行い、全天候シアターで迫力ある映像を楽しんだり、展示格納庫で歴代の自衛隊機に触れたりした。

その後、浜松基地にある第一術科学校を研修し、西澤3空佐による「F-15J」「F-2A」について説明を受け、実際に操縦席に座らせてもらう貴重な体験をした。

研修後、相談員からは「航空自衛隊の仕事の詳細が理解できる貴重な時間だった」「初めて知ることも多かったため、参加できて良かった」と嬉しい言葉を聞くことができた。

また、ご子息が航空自衛官のパイロットとして活躍している相談員からは「息子が勤務していた浜松を訪れることができ、感慨深かった」と言葉があった。

市ヶ尾募集案内所は「今回の研修は、相談員に航空自衛官の職場を理解して頂く良い機会となった。この研修を活かし今後も相談員と共に募集活動を乗り切っていきたい」としている。



F-15Jと記念撮影



F-15J細部の説明をする西澤3佐（写真：左）と興味津々の相談員達



F-2Aについて質問をする募集相談員たち



操縦席で貴重な体験をする相談員（ご子息は航空自衛官：政府専用機のパイロット）

空自入隊予定者が入間基地を先取り体験

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、平成31年1月26日（土）、航空自衛隊入間基地で行われたCH-47Jヘリコプター体験搭乗に2名を招待した。

1名は航空自衛隊自衛官候補生として入隊予定の野見山真弥さん、1名は受験予定者の今井風香さんで今回の体験搭乗を楽しみにしてくれていた。

特に野見山さんは大手コンビニで店長として勤務している社会人である。しかし、将来に不安を覚え自衛官の道を目指し、市ヶ尾募集案内所へ足を運んだことがきっかけとなり、26歳で勉強等から遠ざかっていた野見山さんは、筆記試験対策をしたり、面接試験の練習を重ねたりと努力し、見事自衛官候補生の合格を勝ち取った。

当日は、約30分の搭乗中は窓を覗き込んでみたり、記念撮影をしたりと貴重な時間を過ごした。搭乗後の野見山さんからは「ヘリコプターは初めてでしたが、楽しかったです。働いている自衛官の姿は大変刺激になりました」と入隊に向けて気持ちを高めてくれた様子だった。

市ヶ尾募集案内所は「航空自衛官となる実感を持ってもらえる良い機会となった。引き続き入隊までフォローし、確実に入隊へ結びつけたい」としている。



受験予定者の今井風香さん（写真：左）空自入隊予定者の野見山真弥さん（写真：右）



機内で記念撮影



窓からの眺めを楽しむ参加者達